



## 京都ノートルダム女子大学

心理学部

**廣瀬直哉** (ひろせ なおや)

所在地：京都市左京区下鴨南野々神町 1 番地

<http://www.notredame.ac.jp/shinri/>

**Profile** — 廣瀬直哉  
京都ノートルダム女子大学心理学部教授。専門は生態心理学、認知心理学。著書は『The implications of embodiment: Cognition and communication』（分担執筆, Imprint Academic）など。



### 概要・特色

京都ノートルダム女子大学は、1961年にノートルダム教育修道女会のシスターたちにより京都北山の地に設立されました。2011年の創立50周年を期にキャンパスの全面的な整備を行い、今年4月からは新しく完成した本館で学生たちが学んでいます。

本学心理学部は、2005年に関西では最初の心理学部として誕生しました。入学時点から、「学校心理専攻」「臨床心理専攻」「現代心理専攻」の三つの専攻に分かれています。学校心理専攻では、小学校・幼稚園教諭一種免許が取得できるため、教師志望の学生が多くいます。学校心理専攻の学生の多くは、心理学と教育技術の両方を学びながら、子どものこころが理解できる教師をめざして学んでいます。臨床心理専攻では、こころや行動の問題やその支援に関心のある学生が学んでいます。本学に併設された大学院の心理学研究科は臨床心理士第一種指定校でもあるので、大学院への進学をめざしている学生も多くいます。現代心理専攻は2013年にできた新しい専攻で、現代に生きる人のこころにスポットを当て、現代社会で起きる現象や問題などを心理的に分析しながら、ビジネス現場で活躍する心理学の力を養います。社会調査士の資格が取得できることから、情報収集や調査・分析などのスキルを習得できます。

また、三つの専攻で共通して、認定心理士の資格が取得できます。本学心理学部では、心理学の基礎的な知識や技術をしっかり身につけることを一つの目標としており、取得のためのガイダンスを行うなど認定心理士の取得を奨励しています。その結果、毎年90名前後の学生が卒業時に認定心理士を取得しています。各専攻ともに、自分の将来を見据えて、資格やスキルを手にしようと学生たちは奮闘しています。

その他の本学心理学部の特徴として、少人数できめ細やかな指導をすることを方針とし、1・2年次には担任制、3・4年次にはゼミ担当教員制を導入しています。1年次には『心理学基礎演習』があり、担任となっているすべての教員が基礎教育に関わっています。4月には新入生行事があり、写真のように教員も張り切っています。また、3年次から始まる『心理学演習（ゼミ）』でも、教員と学生の距離感も近く、どのゼミも和気あいあいとしています。



写真1 新入生行事で大縄跳びをする本学心理学部教員

併設している大学院には心理学研究科があり、博士前期課程「発達・学校心理学専攻」「臨床心理学専攻」、博士後期課程「心理学専攻」があります。発達・学校心理学専攻では、子どもの発達支援や心理教育的支援を目標に臨床発達心理士を目指したり、小学校・幼稚園の専修免許を取得し、専門知識を学校現場で活かしたいと考えている学生が在籍しています。臨床心理学専攻にて臨床心理士をめざす学生には、心理臨床センターも学内に併設しており、学内実習にも力を入れています。また、学外実習では、臨床心理士資格認定協会の基準を大幅に超える約400時間が確保され、実習先の臨床心理士・精神科医・教員など専門職スタッフと学内担当教員の両方がきめ細やかな指導をしています。大学院での授業も大学と同じように少人数制を導入しており、論文指導については、1人の学生に対し、指導1名、副指導2名による指導体制をとっています。このように実習や論文指導など、教員と学生の距離が近いのも本学の魅力といえるでしょう。

### カリキュラムの特徴

本学心理学部は三つの専攻に分かれて入学してきますが、1年次では3専攻共通で心理学の入門・初歩的な内容を学び、基礎を固めていきます。心理学は高校までの間ではほとんど学ぶことなく、新たに学ぶ学問になるため、

『心理学概論』『心理統計法』などの1年次の科目は、「心理学がどのような学問であるか」ということについて理解してもらうことをねらいに、ていねいな講義を行っています。2年次で学ぶ『初級実験実習』では、基礎的な心理学実験に取り組み、実験の方法とレポートの書き方を学びます。どの大学でも実験の実習は、学生がレポート作成で最も苦勞する科目ですが、卒業論文に向けて、論文作成能力を大きく伸ばすことができる科目です。また、2年次からは各専攻の専門的な学びも深めていきます。その専攻の学生しか受講できない専門授業もありますが、すべての心理学部生に向けて開講されている科目も多くあります。それらを総合的に学ぶことで心理学の幅広い分野について基本的な知識を学びます。

3年次においては、各教員が卒業研究のための『心理学演習（ゼミ）』を開講します。2年次の後期終了時に学生はゼミ希望届を提出するのですが、教員も学生もワクワクするものがあるかと思えます。ゼミにおいて学生は教員それぞれの専門性とそこに見える人間味に深く関わることになるからです。また、特定の教員と関係を築くことは、学生にとって自分の将来や卒業研究に大きく影響します。そして、そうしたことは他の授業では得られない貴重な経験です。ゼミでは、2年間、少人数で1名の指導教員のもとで研究や卒業論文の作成を実施します。卒論のテーマは、学生自身の個性が輝くものがたくさんあります。女子大学ということもあるのか、母子関係に絡んだテーマや、ファッションや容姿の嗜好と性格特性を結びつけたテーマ、恋愛に関するテーマなどを設定し、掘り下げてい

く学生が多いように思います。

### 卒業後の進路

本学心理学部の三つの専攻ではそれぞれの専門性を活かして、一般企業、教育・医療・福祉の分野での就職をめざしています。さらに専門的な職業に就くため、本学の大学院等に進学をめざす学生もいます。学校心理専攻では、多くの学生が教員免許を取得し、小学校や幼稚園の先生になっています。また、大学院に進んで臨床発達心理士や学校心理士などを取得し、子どもを支援する心理職へ就職する学生もいます。臨床心理専攻では、臨床心理士をめざしてより深く臨床心理を学ぶために大学院へと進学する学生はもちろん、一般企業において大学で身につけたカウンセリングマインドを活かして人事・接客などの職種や公務員になる学生もいます。現代心理専攻からはまだ卒業生は出ていないのですが、大学で身につけた企画や分析の力を活かした社会調査・マーケティング・商品企画などの職種をめざしています。

### キャンパスライフ

古き良き町並みが残る京都ですが、本学がある「北山」は古都というイメージはあまりなく、緑豊かな植物園や文化施設が近くにあり、上品な雰囲気や洋風の建物が多くあります。地下鉄烏丸線の北山駅から徒歩7分という立地に本学はあり、京都駅から本学まではこの地下鉄を利用して20分ほどで通学できるため、京都だけではなく、滋賀、大阪、兵庫など関西各地から学生が通っています。また本学の校地内には学生寮が

あり、関西以外の学生も多くいます。

今年の春に完成した新校舎では、グループディスカッションやゼミ発表、英語力の集中強化に活用できる、多彩なスペースが特徴となっています。新しい図書館にはラーニングコモンズを設け、ゼミやグループ学習に利用できます。3Fには聖堂があり、こころを落ちつけることもできます。また、各階に座って談笑できるスペースが完備しており、学生の憩いの場となっています。カフェスペースでは、モダンで明るい雰囲気と、窓から見える四季折々の京都の風景が特徴で、五山の送り火の「妙法」の文字を見ることが出来ます。また、キャンパス内に茶室があり、クラブ活動や海外からの研修生へのおもてなしの場として利用されています。

大学を一步出ると、パン屋さんやケーキ屋さんなど、名店が多いことで知られる北山通りがあります。オシャレなカフェも多くあり、授業の合間に友達とカフェでのんびりする学生も多く、気分転換ができる環境でもあります。少人数の授業は、時々そのようなカフェで行うこともあります。

このように周辺的环境も良く、また来年にはキャンパスの整備も完成するので、ますます魅力的な大学になっていくことを願っています。



写真2 今春に完成した新校舎内にある聖堂